

注3

大学番号：私110

[平成26年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

創価大学 国際教養学部 国際教養学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人創価大学  
平成28年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 国際教養学部事務室

職名・氏名 事務長・忍<sup>オシ</sup>田<sup>タ</sup>広<sup>ヒロ</sup>義<sup>ヨシ</sup>

電話番号 042-691-6904

（夜間） 080-7009-3069

F A X 042-691-8232

e-mail filaoffice@soka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際教養学部

<国際教養学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人創価大学

## (2) 大学名

創価大学

## (3) 大学の位置

〒192-8577

東京都八王子市丹木町一丁目236番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タシロ ヤスノリ) 田代 康則 (平成16年4月)		
学長	(ババ ヨシヒサ) 馬場 善久 (平成25年4月)		
学部長	(マリア グアハルド) Maria Guajardo (平成26年4月)	(タカハシ イチロウ) 高橋 一郎 (平成28年4月)	任期満了のため。平成28年4月1日に変更(28)
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
国際教養学部 国際教養学科  学士(国際教養学)	4年	80人	0人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	80 80 [—]	— (—) [—]	80 80 [—]	— (—) [—]	80 80 [—]	— (—) [—]	1.08	平成26年度の数字に誤りがありました(27)
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	1143 (—) [33 28]	— (—) [—]	780 (—) [19]	— (—) [—]	687 (—) [25]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	1132 (—) [33 28]	— (—) [—]	770 (—) [19]	— (—) [—]	677 (—) [25]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	148 (—) [12 11]	— (—) [—]	170 (—) [9]	— (—) [—]	184 (—) [15]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	84 (—) [10 9]	— (—) [—]	91 (—) [9]	— (—) [—]	86 (—) [13]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A			1.05			1.13				

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ — ] ( — ) —	[ — ] ( — ) —	[109] ( — ) 84	[ — ] ( — ) —	[ 9 ] ( — ) 91	[ — ] ( — ) —	[ 13 ] ( — ) 86	[ — ] ( — ) —	平成26年度の数字に誤りがありました(27)
2年次	/		[ — ] ( — ) —	[ — ] ( — ) —	[ 8 ] ( — ) 80	[ — ] ( — ) —	[ 9 ] ( — ) 90	[ — ] ( — ) —	
3年次	/		/		[ — ] ( — ) —	[ — ] ( — ) —	[ 8 ] ( — ) 79	[ — ] ( — ) —	
4年次	/		/		/		[ — ] ( — ) —	[ — ] ( — ) —	
計	[ — ] ( — ) —	[ — ] ( — ) —	[ 109 ] ( — ) 84	[ — ] ( — ) —	[ 17 ] ( — ) 171	[ — ] ( — ) —	[ 30 ] ( — ) 255	[ — ] ( — ) —	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)	
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数			
平成25年度 入学者	— 人	— 人	平成25年度	人	人		— %	
			平成26年度	人	人			
			平成27年度	人	人			
			平成28年度	人	人			
平成26年度 入学者	84 人	5 人	平成26年度	4 人	1 人	・他の教育機関への入学・転学(2名) ・その他[転学部](1名)・その他[退学の後、別科へ入学] (1名)	6.0 %	
			平成27年度	1 人	人			・その他
			平成28年度	人	人			
平成27年度 入学者	91 人	1 人	平成27年度	1 人	人	・他の教育機関への入学・転学	1.1 %	
			平成28年度	人	人			
平成28年度 入学者	86 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %	
合 計	261 人	6 人					2.3 %	

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<国際教養学部 国際教養学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目 大学科目	人間教育論Ⅰ※	1-2-3-4前後		2			2						オムニバス 教育課程の充実を図るため、専任教員を追加(担当: Maria Guajardo教授) 10 [平成26年4月] 11 平成26年度に開講したGuajardo教授担当の授業を取りやめるとともに、オムニバス形式の授業内容の充実を図るため、山田竜作教授、及び兼任・兼任教員を変更・追加。[平成27年4月] 9 人間教育論Ⅱから人間教育論Ⅰに名称変更したため、専任教員を追加(担当: L. MacDonald教授) 担当予定教員の都合により、兼任教員1名減。 [平成28年4月]
	人間教育論Ⅱ※	1-2-3-4前後		2			+					兼 8 オムニバス スーパーグローバル大学創成支援事業により、左記科目を英語で実施する授業を開講し、専任教員を追加(担当: L. MacDonald教授) [平成27年4月] 7 英語クラスは人間教育論Ⅰに変更したため、専任教員1名の担当が減少(担当: L. MacDonald教授) [平成28年4月]	
	Soka Education※	1-2-3-4前後		2			0		1			兼 2 オムニバス 授業内容の充実のため、兼任教員から専任教員に変更(担当: M. Daugherty講師)。また、平成26年度に在外研究で担当を外れていた兼任教員を復活。[平成27年4月]	
	創価教育論※	1-2-3-4前後		2								兼 7 オムニバス 担当予定教員の在外研究派遣に伴い、兼任教員が1名減。[平成27年4月]	
												兼 5 オムニバス 上記教員の在外研究派遣終了とともに、オムニバス形式の授業内容の充実を図るため、兼任教員が2名増。[平成28年4月]	
キャリア教育科目	キャリア開発フォーラム	1-2-3-4前後		2								兼 1	
	ワールドビジネスフォーラム	1-2-3-4前後		2								兼 1	
	トップが語る現代経営	1-2-3-4前後		2								兼 2	
	インターンシップⅠ	1-2-3-4前後		2								兼 1	
	インターンシップⅡ	1-2-3-4前後		2								兼 1	
インターンシップⅢ	1-2-3-4前後		2								兼 1		
インターンシップⅣ	1-2-3-4前後		2								兼 1		
言語科目(英語)	English for Academic Purposes	1前	2					1	2			兼 1	
	English for Academic Purposes: Study Abroad I	1後	-2	8			4	1				兼 1	
												兼 1 兼任教員の退任により、別の兼任教員に変更。[平成28年4月] 留学科目 平成26年度、27年度での報告に単位数が抜けており、追加[平成28年4月] 平成26年度、27年度での配当年次の表記に誤りがあり、申請書と同じ学年に修正。[平成28年4月] 平成26年度、27年度での専任教員等の配置の数字に誤りがあり、平成26年度から担当していた専任教員(教授)を1名追加、平成27年度から担当していた専任教員(准教授)を1名追加。[平成28年4月]	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手					
共通科目	外国語科目 (第2)	ロシア語Ⅰ	3前		2							兼	2		
		ロシア語Ⅱ	3後		2							兼	2		
		ロシア語Ⅲ	4前		1							兼	1		
		ロシア語Ⅳ	4後		1							兼	1		
		ロシア語Ⅴ	4前		1							兼	1		
		ロシア語Ⅵ	4後		1							兼	1		
	言語科目 (日本語)	日本語AⅠ	3前		2								兼	7	履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任・兼任教員を追加 [平成27年4月]
			3後		2								兼	5	履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任・兼任教員を追加 [平成28年4月]
		日本語AⅡ	3後		2								兼	7	履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任・兼任教員を追加 [平成27年4月]
			3後		2								兼	5	履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任・兼任教員を追加 [平成28年4月]
		日本語BⅠ	3前		1								兼	1	
		日本語BⅡ	3後		1								兼	1	
		日本語CⅠ	3前		1								兼	1	兼任教員の担当辞退により、担当者変更[平成28年4月]
		日本語CⅡ	3後		1								兼	1	兼任教員の担当辞退により、担当者変更[平成28年4月]
		日本語DⅠ	3前		1								兼	1	
		日本語DⅡ	3後		1								兼	1	
		日本語EⅠ	3前		1								兼	1	
		日本語EⅡ	3後		1								兼	1	
		日本語FⅠ	3前		1								兼	1	
		日本語FⅡ	3後		1								兼	1	
	言語科目 (第3外国語)	ポルトガル語	ポルトガル語Ⅰ	3前		1							兼	1	
			ポルトガル語Ⅱ	3後		1							兼	1	
			ポルトガル語Ⅲ	4前		1							兼	1	
			ポルトガル語Ⅳ	4後		1							兼	1	
			アラビア語Ⅰ	3前		1								兼	0
		アラビア語Ⅱ	3後		1								兼	4	担当予定教員の在外研究派遣に伴い、平成28年度に限り不開講。[平成28年4月]
			4前		1								兼	0	
		アラビア語Ⅲ	4前		1								兼	1	
			4後		1								兼	4	担当予定教員の在外研究派遣に伴い、平成28年度に限り不開講。[平成28年4月]
		アラビア語Ⅳ	3前		1								兼	1	
3後				1								兼	1		
4前				1								兼	1		
4後				1								兼	1		
3前				1								兼	1		
3後				1								兼	1		
4前				1								兼	1		
4後				1								兼	1		
3前				1								兼	1		
3後				1								兼	1		
4前				1								兼	1		
4後				1								兼	1		
3前				1								兼	1		
3後				1								兼	1		
4前				1								兼	1		
4後				1								兼	1		
トルコ語		トルコ語Ⅰ	3前		1								兼	1	
		トルコ語Ⅱ	3後		1								兼	1	
		トルコ語Ⅲ	4前		1								兼	1	
	トルコ語Ⅳ	4後		1								兼	1		
	ブルガリア語	ブルガリア語Ⅰ	3前		1								兼	1	
		ブルガリア語Ⅱ	3後		1								兼	1	
		ブルガリア語Ⅲ	4前		1								兼	1	
		ブルガリア語Ⅳ	4後		1								兼	1	
	モンゴル語	モンゴル語Ⅰ	3前		1								兼	1	
		モンゴル語Ⅱ	3後		1								兼	1	
		モンゴル語Ⅲ	4前		1								兼	1	
		モンゴル語Ⅳ	4後		1								兼	1	
インドネシア・マレー語Ⅰ	3前		1								兼	4	担当予定教員の在外研究派遣に伴い、不開講。[平成28年4月]		
	3後		1								兼	4	担当予定教員の在外研究派遣に伴い、不開講。[平成28年4月]		
インドネシア・マレー語Ⅱ	4前		1								兼	1	担当予定教員の在外研究派遣に伴い、28年度に限り、後期の開講。[平成28年4月]		
	4後		1								兼	1			
言語演習	言語演習Ⅰ	3前		1								兼	2	兼任教員の担当辞退により1名減 [平成27年4月]	
	言語演習Ⅱ	3後		1								兼	2	兼任教員の担当辞退により1名減 [平成27年4月]	
	言語演習Ⅲ	4前		1								兼	2	兼任教員の担当辞退により1名減 [平成27年4月]	
	言語演習Ⅳ	4後		1								兼	2	兼任教員の担当辞退により1名減 [平成27年4月]	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				備 考
			必 修	選 択	自 由		教 授	准 教 授	講 師	助 教 助 手	
共通科目	健康・ 体育科目	体育実技Ⅰ	1・2・3・4前後	1							兼 5 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成27年4月] 兼 4 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成28年4月] 3
		体育実技Ⅱ	1・2・3・4前後	1							兼 4 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成27年4月] 兼 3 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成28年4月] 2
		体育実技Ⅲ	1・2・3・4前後	1							兼 5 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成27年4月] 兼 4 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成28年4月] 3
		体育実技Ⅳ	1・2・3・4前後	1							兼 7 教育課程の充実を図るため、兼任教員を追加(担当:内藤耕三)[平成26年4月] 兼 5 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成27年4月] 兼 4 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成28年4月] 3
		体育講義Ⅰ	1・2・3・4前後	2							兼 3 履修者増加により開講授業数を増やしたため、兼任教員を追加[平成27年4月] 兼 4 担当予定教員の都合により、兼任教員を変更・減少。[平成28年4月] 3
		体育講義Ⅱ	1・2・3・4前後	2							兼 3 担当予定教員の在外研究派遣に伴い1名兼任教員減[平成27年4月] 兼 1 在外研究派遣終了と履修者増加による開講授業数増に伴い、兼任教員2名を追加[平成28年4月] 2
人文・ 芸術・ 思想科目	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 美術Ⅰ 美術Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 哲学 倫理学 歴史Ⅰ 歴史Ⅱ 言語学 学術文章作法Ⅰ 学術文章作法Ⅱ 学術文章作法Ⅲ	音楽Ⅰ	3・4前	2							兼 2 スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため兼任教員を追加[平成28年4月] 4
		音楽Ⅱ	3・4後	2							兼 1
		美術Ⅰ	3・4前	2							兼 1
		美術Ⅱ	3・4後	2							兼 1
		文学Ⅰ	3・4前	2							兼 2 担当予定教員の都合により1名兼任教員の辞退発生したことによる変更[平成27年4月] 兼 3 担当予定教員の退任に伴う担当者変更[平成28年4月] 3
		文学Ⅱ	3・4後	2							兼 3 履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任教員を追加[平成27年4月] 2
		哲学	3・4前後	2							兼 1 スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため兼任教員を追加[平成28年4月] 1
		倫理学	3・4前後	2							兼 1
		歴史Ⅰ	3・4前後	2							兼 5 担当予定教員の在外研究派遣に伴い兼任教員1名減[平成27年4月] 兼 4 担当予定教員の在外研究派遣終了に伴い兼任教員1名増[平成28年4月] 5
		歴史Ⅱ	3・4前後	2							兼 2 担当予定教員の在外研究派遣に伴い兼任教員1名減[平成27年4月] 兼 3
		言語学	3・4前後	2							兼 3 兼任教員の担当辞退により兼任教員2名増。開講授業数は変更なし[平成28年4月] 兼 4 11
		学術文章作法Ⅰ	3・4前後	2			1				兼 履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任教員を追加[平成27年4月] 9
		学術文章作法Ⅱ	3・4前後	2							兼 1 スーパーグローバル大学創成支援事業による英語クラスの増設に伴う専任教員の追加とともに、担当予定教員の退任・履修者増加に伴い開講授業数を増やしたため兼任教員を追加[平成28年4月] 1
学術文章作法Ⅲ	3・4前後	2							兼 1 担当予定教員の都合により、兼任教員を1名解除。(28) 兼 2 担当予定教員の都合により、兼任教員を3名解除。(28) 兼 4		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
共通科目	社会・生活・文化・文科	法学概説	3・4前後	2								兼	1		
		日本国憲法	3・4前後	2									兼	2	
		心理学概論	3・4前後	2									兼	2	履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任・兼任教員を変更・追加[平成27年4月]
	自然・数理・情報科目	数学基礎Ⅰ	2後・3前後	2									兼	2	スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため兼任教員を追加[平成27年4月]
		数学基礎Ⅱ	2後・3前後	2									兼	2	兼任教員の退職に伴い担当者を変更。[平成27年4月] 兼任教員の退職に伴い担当者を変更。[平成28年4月]
		物理科学Ⅰ	2後・3前後	2									兼	1	
		物理科学Ⅱ	2後・3前後	2									兼	1	
		コンピュータ・リテラシーⅠ	2後・3前後	2									兼	5	履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任・兼任教員を追加[平成27年4月]
		コンピュータ・リテラシーⅡ	2後・3前後	2									兼	4	履修者増加により開講授業数を増やしたため兼任教員を追加[平成28年4月]
		プログラミング	2後・3前後	2									兼	1	担当予定教員の負担軽減のため兼任教員を追加(28)
		情報科学Ⅰ	2後・3前後	2									兼	2	担当予定教員の退職により兼任・兼任教員を変更[平成27年4月]
		情報科学Ⅱ	2後・3前後	2									兼	2	担当予定教員の退職・担当辞退に伴い、兼任教員を変更・減少[平成28年4月]
		生命科学Ⅰ	2後・3前後	2									兼	3	
		生命科学Ⅱ	2後・3前後	2									兼	2	
		環境科学Ⅰ	2後・3前後	2							1		兼	2	スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため専任教員を追加(28) 兼任教員の担当辞退により兼任教員数が2名減。開講授業数に変更はなし。[平成27年4月]
		環境科学Ⅱ	2後・3前後	2							1		兼	4	スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため専任教員を追加(28)
		学際系科目(平和・人権・世界)	21世紀文明論	3・4前後	2									兼	0
	総合科目特講		3・4前後	2									兼	1	オムニバス
	現代マスコミ論		3・4前後	2									兼	1	オムニバス
	国際ボランティア実習		3・4前後	2			1						兼	2	担当予定教員の都合により、兼任教員1名を解除。(28)
八王子学	3・4前後		2									兼	1	オムニバス	
サービスラーニング(社会貢献と学び)	3・4前後		2									兼	3		
平和学Ⅰ	3・4前後		2									兼	1		
平和学Ⅱ	3・4前後		2									兼	1	オムニバス	
地域研究Ⅰ	3・4前後		2							1		兼	4	オムニバス スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため専任教員を2名担当として追加。また、教育課程の充実のため、兼任教員を追加。[平成27年4月]	
地域研究Ⅱ	3・4前後		2							2		兼	6	担当予定教員の都合により、専任教員・兼任教員3名減。[平成28年4月]	
日本研究Ⅰ	3・4前後		2									兼	7	オムニバス スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため兼任教員を1名担当として追加。[平成28年4月]	
日本研究Ⅱ	3・4前後		2									兼	6		
共通総合演習Ⅰ	3・4前後		2				1					兼	2	スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため兼任教員を1名担当として追加。[平成28年4月]	
共通総合演習Ⅱ	3・4前後		2				0					兼	4	履修者増加により開講授業数を増やしたため専任教員、及び兼任・兼任教員を追加[平成27年4月] 担当予定教員の在外研究派遣に伴い兼任教員1名減[平成28年4月]	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	学部 共 通 科 目 群	Academic Foundations	1前	2				1	2			兼 1	担当予定教員の退任に伴い兼担教員の担当者変更。[平成28年4月]
		Academic Foundations: Study Abroad I	1後	6				4	1				留学科目 平成26年度、27年度での専任教員等の配置の数字に誤りがあり、平成26年度から担当していた専任教員(教授)を1名追加、平成27年度から担当していた専任教員(准教授)を1名追加。[平成28年4月]
		Academic Foundations: Study Abroad II	2前	6				4	1				留学科目 平成26年度、27年度での専任教員等の配置の数字に誤りがあり、平成26年度から担当していた専任教員(教授)を1名追加、平成27年度から担当していた専任教員(准教授)を1名追加。[平成28年4月]
		Cross-cultural Understanding	1前	4				1	1	2			
		Introductory Statistics	1前	4				1	1				担当予定教員の担当辞退に伴い、専任教員を1名変更[平成28年4月]
		Introduction to Global Culture	2後	4				1	1				
		Introduction to International Relations and Politics	2後	4				1	-2	1			H. Lenz准教授の教授昇任と担当予定教員の都合に伴い、担当を変更。[平成28年4月]
		Introduction to Global Economy and Business	2後	4				1	1	-2			Ozturk准教授の教授昇任に伴う変更。[平成28年4月]
		Academic Writing I	2後	2				1	2				兼 0 担当予定教員の退任に伴い、兼担教員を1名減。専任教員のコマ増で対応するため、開講授業数は変更なし[平成28年4月]
		Academic Writing II	3後	2				1	2				
		Academic Writing III	4後	2				1	2				
		Basic Seminar I	1前	2				6					平成26年4月よりTT[平成28年4月]
		Basic Seminar II	2後	2				6					
		Seminar I	3前	2				8	2	2			TT TTはBasic Seminar Iで代わりに実施[平成28年4月] 専任教員の教授昇格・担当予定教員の都合に伴う担当の増減及び変更[平成28年4月]
		Seminar II	3後	2				10	2	2			専任教員の教授昇格・担当予定教員の都合に伴う担当の増減及び変更[平成28年4月]
		Seminar III	4前	2				8	5	1			
		Capstone	4後	4				8	5	1			
	International Fieldwork			2(春)・3(秋)	2								
	Global Workshop I			2休(春)	1								
	Global Workshop II			3休(春)	1								
歴 史 ・ 文 化 科 目 群	Modern World History	3・4前		4				1					
	International History in the 20th century	3・4後		4				1					
	Global Issues in Social Policy	3・4前		4				1					
	Education for Sustainable Development	3・4後		4				1					
	Modern Social Thought	3・4前		4				1					
	Global Justice and Intercultural Ethics	3・4後		4				1					
	Global Sociology and Transnational Migration	3・4前		4					1				
		3・4後		4					1				
	政 治 ・ 国 際 関 係 科 目 群	Contemporary Political Theory	3・4前		4				1				
		Citizenship and Democracy in a Global Age	3・4後		4				1				
Great Power Politics in the International Political Economy		3・4前		4				1					
International Institutions and Global Governance		3・4前		4				1					
International Relations in Asia		3・4後		4				1					
International Bargaining		3・4後		4				1					
Comparative Politics		3・4後		4				1					
Management of Non-Profit Organizations	3・4後		4				1						
経 済 ・ 経 営 科 目 群	Microeconomics	3・4前		4				1					
	Macroeconomics	3・4後		4				1					
	Poverty and Development	3・4前		4				1					
	History and Theory of World Economy	3・4後		4				1					
	Management Science	3・4前		4				1					
	International Business	3・4後		4				1					
	Marketing	3・4前		4				1					
	Operations Management	3・4後		4				1					
	International Human Resource Management	3・4前		2								兼 1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 182	科目 0	科目 200	科目 18 [ 0 ]	科目 182 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 200 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	インドネシア・マレー語Ⅰ	1	3年前	一般	選択	担当教員が在外研究のため単年度のみ、不開講
2	インドネシア・マレー語Ⅱ	1	3年後	一般	選択	担当教員が在外研究のため単年度のみ、不開講
3	アラビア語Ⅱ	1	3年後	一般	選択	担当教員が在外研究のため単年度のみ、不開講
4	21世紀文明論	2	3・4前後	一般	選択	担当予定教員が副学長昇任に伴い、負担軽減を考慮したため不開講、代替措置無

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「インドネシア・マレー語Ⅰ・Ⅱ」「アラビア語Ⅱ」については、卒業に必須な科目ではなく、例年の履修者も少数なため、代替教員は立てず、単年度に限り不開講。

学際系科目である「21世紀文明論」については、田中教授の副学長昇任に伴い、負担軽減を考慮し、閉講したが、本科目は自由選択科目に相当するため、別の科目で単位修得することによって、国際教養学部の卒業要件を満たすことは可能である。また、学際系科目の授業開講数も豊富であり、学習に支障はない。閉講については、ホームページを通じて周知する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	4	=	0.02
設置時の計画の授業科目数の計	200		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	教職員宿舍用の土地 売却に伴う変更 (27)		
	校舎敷地	262,997.08 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	262,997.08 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	108,423.08 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	108,423.08 m <sup>2</sup>			
	小 計	371,420.16 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	371,420.16 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	371,326.19 m <sup>2</sup> <del>371,779.61 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	371,326.19 m <sup>2</sup> <del>371,779.61 m<sup>2</sup></del>			
	合 計	742,746.35 m <sup>2</sup> <del>743,199.77 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	742,746.35 m <sup>2</sup> <del>743,199.77 m<sup>2</sup></del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	看護学部棟・中央教育棟 の竣工面積確定に伴う変更 (26) 理科実験棟解体時期延期 に伴う変更(26) 学生センターの用途精査 に伴う修正(26) 教育学部増築棟の計画面 積の変更(26) 教育学部増築棟の竣工面 積確定に伴う変更(28)			
	165,977.78 m <sup>2</sup> <del>166,016.18 m<sup>2</sup></del> 171,688.64 m <sup>2</sup>  (164,798.04 m <sup>2</sup> ) (170,208.90 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	165,977.78 m <sup>2</sup> <del>166,016.18 m<sup>2</sup></del> 171,688.64 m <sup>2</sup>  (164,798.04 m <sup>2</sup> ) (170,208.90 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体の数字を報 告していただくため、学 部の数字に修正 (27)		
	57 79 427 室	39 92 135 室	0 42 40 室	11 44 49 室 (補助職員 0人)	1 —6 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際教養学部 国際教養学科			17 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書：1,196,844冊 1,164,444 <del>1,148,244</del> (1,132,044冊) (1,115,844冊)  整備・充実に伴う増 による変更(27) 雑誌：7,434種 (7,434種) 整備・充実に伴う増 による変更(28)
	国際教養学部	94,307 [20,827]  91,587 20,507 <del>90,227 20,347</del> 88,867 (87,507 [20,027])	75 [25]  (75 [25])	920 [920]  912 912 <del>908 908</del> (900 [900])	280  272 <del>268</del> (260)	13167  (13,167)	98  (98)	
	計	94,307 [20,827]  91,587 20,507 <del>90,227 20,347</del> 88,867 (87,507 [20,027])	75 [25]  (75 [25])	920 [920]  912 912 <del>908 908</del> (900 [900])	280  272 <del>268</del> (260)	13167  (13,167)	98  (98)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	8,763.80 m <sup>2</sup>	1200席	1,290,079 冊	大学全体				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	13,585.06 m <sup>2</sup>	陸 上 競 技 場	野 球 場	場			大学全体	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	430千円	430千円	図書購入費	3,600千円	3,600千円	3,600千円
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	500千円	500千円	500千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,367千円	1,121千円	1,121千円	1,121千円	—	—	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助、資産運用収入、寄付金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	創 価 大 学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経済学部									
経済学科	4	※200	—	850	学士 (経済学)	1.09	昭和46年度	東京都八王子市丹 木町1-236	※平成26年度
法学部									
法律学科	4	250	-	1,000	学士 (法学)	1.09	昭和46年度	同上	
文学部									
人間学科	4	370	-	1,480	学士 (文学)	1.07	昭和46年度	同上	
経営学部									
経営学科	4	※200	-	850	学士 (経営学)	1.10	昭和51年度	同上	※平成26年度
教育学部									
教育学科	4	80	-	320	学士 (教育学)	1.09	昭和51年度	同上	
児童教育学科	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.10	昭和51年度	同上	
理工学部									
情報システム工学科	4	※80	-	300	学士 (工学)	1.07	平成3年度	同上	※平成25年度 70人 ※平成27年度 80人
共生創造理工学科	4	100	-	200	学士 (理工学)	1.14	平成27年度	同上	
生命情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成3年度	同上	※平成27年より学生募 集停止
環境共生工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成15年度	同上	※平成27年より学生募 集停止
看護学部									
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成25年度	同上	
国際教養学部									
国際教養学科	4	80	-	240	学士 (国際教養学)	1.08	平成26年度	同上	
[大学院]〈博士前期課程〉									
経済学研究科									
経済学専攻	2	15	-	30	修士 (経済学)	0.60	昭和50年度	同上	
法学研究科									
法学専攻	2	15	-	30	修士 (法学)	0.26	昭和50年度	同上	
文学研究科									
英文学専攻	2	10	-	20	修士 (英文学)	0.20	昭和50年度	同上	
社会学専攻	2	10	-	20	修士 (社会学)	0.50	昭和50年度	同上	
教育学専攻	2	15	-	30	修士 (教育学)	0.79	昭和61年度	同上	
人文学専攻	2	8	-	16	修士 (人文学)	0.31	平成4年度	同上	
工学研究科									
情報システム工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	0.89	平成7年度	同上	
生命情報工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	0.95	平成7年度	同上	
環境共生工学専攻	2	25	-	50	修士 (工学)	0.98	平成19年度	同上	

大学の名称	創 価 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
[大学院]<修士課程> 文学研究科 国際言語教育専攻	2	15	-	30	修士 (教育学)	0.73	平成21年度	同上	
[大学院]<博士後期課程> 経済学研究科 経済学専攻	3	5	-	15	博士 (経済学)	0.26	昭和52年度	同上	
法学研究科 法学専攻	3	3	-	9	博士 (法学)	0.00	昭和52年度	同上	
文学研究科 英文学専攻	3	5	-	15	博士 (英文学)	0.06	昭和52年度	同上	
社会学専攻	3	5	-	15	博士 (社会学)	0.26	昭和52年度	同上	
教育学専攻	3	2	-	6	博士 (教育学)	0.16	平成元年度	同上	
人文学専攻	3	4	-	12	博士 (人文学)	0.08	平成6年度	同上	
工学研究科 情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.25	平成9年度	同上	
生命情報工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.50	平成9年度	同上	
環境共生工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.66	平成19年度	同上	
[大学院]<専門職課程> 法務研究科 法務専攻	3	※28	-	88	法務博士 (専門職)	0.81	平成16年度	同上	※平成28年度
教職研究科 教職専攻	2	25	-	50	教職修士 (専門職)	0.94	平成20年度	同上	
[通信教育部] 経済学部	4	2,000	—	8,000	学士 (経済学)	0.12	昭和51年度	同上	
法学部	4	2,000	—	8,000	学士 (法学)	0.11	昭和51年度	同上	
教育学部	4	※650	—	3,300	学士 (教育学)	0.71	昭和57年度	同上	※平成27年度
[別 科] 日本語研修課程	1	35	—	35		1.22	昭和51年度	同上	
特別履修課程	1	40	—	40		1.57	平成16年度	同上	
大学の名称	創 価 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
現代ビジネス学科	2	150	—	300	短期大学士 (現代ビジネス)	1.08	昭和60年度	東京都八王子市丹 木町1丁目236番地	
英語コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士 (英語コミュニケーション)	1.04	昭和60年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	Maria Guajardo (54)	平成26年4月	Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Global Workshop I Global Workshop II	専	教授	Maria Guajardo (54)	平成26年4月	人間教育論 I Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Global Workshop I Global Workshop II	平成26年4月から教育課程の充実を図るため担当科目を追加(26)
					専	教授	Maria Guajardo (55)	平成26年4月	Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Global Workshop I Global Workshop II	
専	教授	小出 稔 (51)	平成26年4月	English for Academic Purposes: Study Abroad I English for Academic Purposes: Study Abroad II Academic Foundations: Study Abroad I Academic Foundations: Study Abroad II Basic Seminar I Basic Seminar II Seminar I Seminar II Seminar III Capstone International Institutions and Global Governance International Relations in Asia 国際ボランティア実習	専	教授	小出 稔 (51)	平成26年4月	English for Academic Purposes: Study Abroad I English for Academic Purposes: Study Abroad II Academic Foundations: Study Abroad I Academic Foundations: Study Abroad II Basic Seminar I Basic Seminar II Seminar I Seminar II Seminar III Capstone International Institutions and Global Governance International Relations in Asia	共通科目：国際ボランティア実習は、国際部長として担当していたが、役職交代により担当者変更(26)
専	教授	前川 一郎 (44)	平成26年4月	English for Academic Purposes: Study Abroad I English for Academic Purposes: Study Abroad II Academic Foundations: Study Abroad I Academic Foundations: Study Abroad II Basic Seminar I Basic Seminar II Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Modern World History International History in the 20th century						

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
専	教授	杉本 一郎 (46)	平成26年4月	専	教授	杉本 一郎 (46)	平成26年4月	<p>English for Academic Purposes: Study Abroad I</p> <p>English for Academic Purposes: Study Abroad II</p> <p>Academic Foundations: Study Abroad I</p> <p>Academic Foundations: Study Abroad II</p> <p>Basic Seminar I</p> <p>Basic Seminar II</p> <p>Seminar I</p> <p>Seminar II</p> <p>Seminar III</p> <p>Capstone</p> <p>International Fieldwork</p> <p>Poverty and Development</p> <p>History and Theory of World Economy</p> <p>Introductory Statistics</p>	<p>平成26年度、27年度での報告に誤りがあり、平成26年度から担当していた「Introductory Statistics」を追加。(28)</p>
専	教授	高橋 一郎 (62)	平成26年4月	専	教授	高橋 一郎 (62)	平成26年4月	<p>Introductory Statistics</p> <p>Basic Seminar I</p> <p>Basic Seminar II</p> <p>Seminar I</p> <p>Seminar II</p> <p>Seminar III</p> <p>Capstone</p> <p>Microeconomics</p> <p>Macroeconomics</p>	<p>高橋教授の学部長昇格に伴い、「Introductory Statistics」の担当をWang准教授に変更。(28)</p>
				専	准教授	George Yungchih Wang (49)	平成28年4月	Introductory Statistics	
専	教授	山田 竜作 (47)	平成26年4月	専	教授	山田 竜作 (48)	平成26年4月	<p>Basic Seminar I</p> <p>Basic Seminar II</p> <p>Seminar I</p> <p>Seminar II</p> <p>Seminar III</p> <p>Capstone</p> <p>Contemporary Political Theory</p> <p>Citizenship and Democracy in a Global Age</p> <p>人間教育論 I ※</p>	<p>授業内容充実のため、人間教育論 I の担当として山田教授を追加。なお、同科目はオムニバス形式で実施される。(27)</p>
専	教授	小山内 優 (54)	平成26年4月	専	教授	小山内 優 (55)	平成26年4月	<p>Basic Seminar I</p> <p>Basic Seminar II</p> <p>Seminar I</p> <p>Seminar II</p> <p>Seminar III</p> <p>Capstone</p> <p>Management of Non-Profit Organization</p> <p>国際ボランティア実習</p> <p>共通総合演習 I</p> <p>共通総合演習 II</p>	<p>共通科目：国際ボランティア実習は、国際部長が担当のため、4月より就任のため担当追加 (26)</p> <p>教育課程充実のため、共通総合演習 I、同 II (いずれも共通科目) の開講数を増やし、小山内教授を担当として追加。(27)</p> <p>Seminar I は負担軽減のため、解除(28)</p>
						後任なし			<p>授業負担軽減のため、共通総合演習 II の担当を解除(28)</p>

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
専	教授	Laurence MacDonald (51)	平成26年4月	Cross-cultural Understanding Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Global Issues in Social Policy Education for Sustainable Development	専	教授	Laurence MacDonald (52)	平成26年4月	Cross-cultural Understanding Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Global Issues in Social Policy Education for Sustainable Development 人間教育論Ⅱ 人間教育論Ⅰ English for Academic Purposes: Study Abroad I English for Academic Purposes: Study Abroad II Academic Foundations: Study Abroad I Academic Foundations: Study Abroad II	スーパーグローバル大学創成支援事業により英語クラスを増設したため「人間教育論Ⅱ」の担当者としてL. MacDonald教授を追加。(27) 英語クラスを「人間教育論Ⅰ」に変更。(28) 平成26年度、27年度での報告に誤りがあり、平成26年度から担当していた「English for Academic Purposes: Study Abroad I・II」「Academic Foundations: Study Abroad I・II」を追加(28)
専	准教授	Robert Sinclair (44)	平成26年9月	Introduction to Global Culture and Society Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Modern Social Thought Global Justice and Intercultural Ethics						
専	准教授	John Glenn (51)	平成27年8月	Introduction to International Relations and Politics Seminar I Seminar II Seminar III Capstone International Political Economy Comparative Politics		後任未定				John Glenn准教授就任辞退。担当科目はすべて3・4年次科目(平成28年開講)のため、本年度の履修に支障はない。国際公募を実施し、現在、最終選考中。本年度中に後任決定予定。(26)
専	准教授	Hartmut Lenz (38)	平成26年8月	Introduction to International Relations and Politics Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Great Power Politics in the World International Bargaining	専	講師	Anar Koli (41)	平成27年1月	Introduction to International Relations and Politics Seminar I Seminar II Seminar III Capstone International Political Economy Comparative Politics 地域研究Ⅰ	John Glenn准教授の就任辞退に伴う後任。 また、スーパーグローバル大学創成支援事業により地域研究Ⅰの英語クラスを増設したため、Koli准教授を同科目の担当として追加。(27)

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
専	准教授	George Yungchih Wang (48)	平成27年2月					Introduction to Global Economy and Business Seminar I Seminar II Seminar III Capstone International Business Marketing	
専	准教授	Ugur Aytun Ozturk (38)	平成27年8月	専	教授	Ugur Aytun Ozturk (38)	平成27年5月	Introduction to Global Economy and Business Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Management Science Operations Management	前任校の都合により、就任時期を3ヶ月前倒し。また、前任校で教授に昇任したため、本学採用時に改めて業績審査を行い、職位を教授へ変更。(27)
専	准教授	Harunori Miyagi (39)	平成26年4月	専	准教授	Harunori Miyagi (41)	平成28年4月	English for Academic Purposes Academic Foundations Cross-cultural Understanding Academic Writing I Academic Writing II Academic Writing III	平成27年度での報告に誤りがあり、平成27年度から担当していた「English for Academic Purposes: Study Abroad I・II」「Academic Foundations: Study Abroad I・II」を追加。(28) スーパーグローバル大学創成支援事業により学術文章作法Ⅰの英語クラスを増設したため、Miyagi准教授を同科目の担当として追加。(28)
専	講師	David M. Daugherty (49)	平成26年4月	専	講師	David M. Daugherty (50)	平成26年4月	English for Academic Purposes Academic Foundations Cross-cultural Understanding Academic Writing I Academic Writing II Academic Writing III	授業内容充実のため、Soka Educationの担当として Daugherty講師を追加。なお、同科目はオムニバス形式で実施される。(27) スーパーグローバル大学創成支援事業により環境科学Ⅰ・Ⅱの英語クラスを増設したため、Daugherty講師を同科目の担当として追加。(28) 環境科学Ⅰ 環境科学Ⅱ
専	講師	Valerie C. Hansford (44)	平成26年4月					English for Academic Purposes Academic Foundations Cross-cultural Understanding Academic Writing I Academic Writing II Academic Writing III	
専	講師	Johanna Zulueta (35)	平成26年4月	専	講師	Johanna Zulueta (36)	平成26年4月	Introduction to Global Culture and Society Seminar I Seminar II Seminar III Capstone Global Sociology and Anthropology Transnational Migration	スーパーグローバル大学創成支援事業により地域研究Ⅰの英語クラスを増設したため、Zulueta講師を同科目の担当として追加。(27) 授業負担軽減のため、Zulueta講師担当の「地域研究Ⅰ」英語クラスを閉講。なお、A. Koli講師担当の「地域研究Ⅰ」英語クラスは継続開講のため、支障なし(28) 地域研究Ⅰ

<共通科目>

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	寺西 宏友 (58)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※						
兼任	教授	馬場 善久 (61)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※						
					兼任	教授	加賀 謙治 (60)	平成27年4月	人間教育論Ⅰ※	授業内容充実のため担当を追加。(27)
兼任	教授	森 幸雄 (58)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※	兼任	教授	石神一豊 (60)	平成27年4月	人間教育論Ⅰ※	森教授の都合(所属学部の授業担当増加)のため、人間教育論Ⅰの担当を石神教授へ変更。なお、八王子学の後任はなしとし、同科目の担当は杉山教授のみとする。(27)
				八王子学※	兼任	准教授	富岡 比呂子 (42)	平成28年4月	人間教育論Ⅰ※	
							後任なし			石神教授の担当辞退に伴い、富岡准教授へ変更。(28)
兼任	教授	高橋 強 (59)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※	兼任	教授	川崎 高志 (52)	平成27年4月	人間教育論Ⅰ※	高橋教授の都合(所属学部の授業担当増加)のため、人間教育論Ⅰの担当を川崎教授へ変更。(27)
				人間教育論Ⅱ※						
兼任	教授	木下 薫 (60)	平成26年4月	人間教育論Ⅱ※						
兼任	教授	浅山 龍一 (61)	平成26年4月	人間教育論Ⅱ※	兼任	講師	山崎 達也 (57)	平成26年4月	人間教育論Ⅱ※	浅山教授の都合(所属学部の授業担当増加)のため、人間教育論Ⅱの担当を山崎講師へ変更。なお、山崎講師は平成26年よりすでに「哲学」を担当しているため、担当科目の追加となる。(27)
兼任	教授	上 優二 (62)	平成26年4月	人間教育論Ⅱ※	兼任	講師	村上 政彦 (56)	平成27年4月	人間教育論Ⅱ※	上教授の体調不良に寄る休職のため、人間教育論Ⅱの担当を村上講師へ変更。(27)
兼任	教授	神立 孝一 (58)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※ 創備教育論※						
兼任	教授	勘坂 純市 (50)	平成26年4月	創備教育論※						
兼任	教授	中山 雅司 (54)	平成26年4月	創備教育論※						
兼任	教授	長谷部 秀孝 (64)	平成26年4月	キャリア開発 フォーラム	兼任	講師	羽賀(中村) 文湖 (39)	平成27年4月	キャリア開発 フォーラム	教育課程充実のため、キャリア教育を専門とする羽賀講師を採用し、長谷部教授が担当していたキャリア開発フォーラムを羽賀講師の担当へと変更する。(27)
				インターンシップ Ⅰ インターンシップ Ⅱ	兼任	教授	長谷部 秀孝 (65)	平成26年4月	インターンシップ Ⅰ インターンシップ Ⅱ	
兼任	教授	本間 マリ子 (55)	平成26年4月	ワールドビジネス フォーラム	兼任	講師	羽賀(中村) 文湖 (39)	平成27年4月	ワールドビジネス フォーラム	教育課程充実のため、キャリア教育を専門とする羽賀講師を採用し、本間教授が担当していたワールドビジネスフォーラムを羽賀講師の担当へと変更する。(27)
兼任	教授	望月 雅光 (46)	平成26年4月	トップが語る現代 経営	兼任	教授	望月 雅光 (47)	平成26年4月	トップが語る現代 経営 コンピュータ・リ テラシーⅠ	教育課程の充実のため、コンピュータ・リテラシーⅠの開講数を増やし、望月教授を担当として追加。(27)
					兼任	講師	中村 孝太郎 (65)	平成28年4月	コンピュータ・リ テラシーⅠ	コンピュータ・リテラシーⅠについて、望月教授が特別研究員派遣のため、前期担当のみ中村講師に変更。(28)
兼任	教授	田中 亮平 (60)	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 文学Ⅱ 21世紀文明論※	兼任	教授	田中 亮平 (61)	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 21世紀文明論※	ドイツ語Ⅰ、同Ⅱの開講科目数増加(西田准教授が辞退した開講数分)に伴い、文学Ⅱの担当をなしに変更。文学Ⅱは他の教員が担当する授業が複数開講されているため、支障はない。(27)
				現代マスコミ論※					後任なし	
兼任	教授	清多 英樹 (69)	平成26年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 文学Ⅱ	兼任	講師	Marcella Morganti (51)	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	清多教授の退任に伴い、フランス語Ⅰ・Ⅱは、Morganti講師。文学Ⅱは、鈴井教授に担当者変更。(28)
					兼任	教授	鈴井 宣行 (66)	平成28年4月	文学Ⅱ	

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	鈴木 宣行 (64)	平成26年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 地域研究Ⅱ※ 共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ						
兼任	教授	汪 鴻祥 (60)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	教授	石原 忠佳 (61)	平成26年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ アラビア語Ⅰ アラビア語Ⅱ アラビア語Ⅲ アラビア語Ⅳ 地域研究Ⅰ※	兼任	教授	イシハラ タダヨシ 石原 忠佳 (63)	平成28年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ (平成28年のみ担当解除) アラビア語Ⅰ アラビア語Ⅱ (平成28年のみ担当解除) アラビア語Ⅲ アラビア語Ⅳ (平成28年のみ担当解除) 地域研究Ⅰ	在外研究のため、平成28年度のみ以下の担当を解除。スペイン語Ⅱ、アラビア語Ⅱ、アラビア語Ⅳ(28)
兼任	教授	伊 秀一 (57)	平成26年4月	ハンブルⅠ ハンブルⅡ ハンブルⅤ ハンブルⅥ 地域研究Ⅰ※						
兼任	教授	Stella Sivakova (51)	平成26年4月	ロシア語Ⅴ ロシア語Ⅵ						
兼任	教授	久保田 秀明 (53)	平成26年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 体育実技Ⅲ 体育実技Ⅳ 体育講義Ⅰ 体育講義Ⅱ	兼任	教授	クボタ ヒデアキ 久保田 秀明 (47)	平成27年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 体育実技Ⅲ 体育実技Ⅳ 体育講義Ⅰ 体育講義Ⅱ	久保田教授の在外研究派遣(平成27年9月出発)により、体育講義Ⅱの担当をなしに。体育講義Ⅱは他教員の担当で開講されているため、支障はない。(27) 久保田教授の在外研究派遣終了に伴い、体育講義Ⅱの担当を追加。(28)
兼任	教授	井上 アヤ子 (65)	平成26年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 体育実技Ⅲ 体育実技Ⅳ 体育講義Ⅱ						
兼任	教授	関川 佳人 (66)	平成26年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅲ 体育実技Ⅳ 体育講義Ⅰ						
兼任	教授	山中 正樹 (51)	平成26年4月	文学Ⅰ						
兼任	教授	水谷 誠 (63)	平成26年4月	文学Ⅰ						
兼任	教授	小倉 裕児 (61)	平成26年4月	歴史Ⅰ	兼任	教授	小倉 裕児 (62)	平成26年4月	歴史Ⅰ 学術文章作法Ⅰ 学術文章作法Ⅱ 学術文章作法Ⅲ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、小倉教授を担当として追加。(27)
				学術文章作法Ⅱ	兼任	准教授	佐藤 広子 (60)	平成28年4月	学術文章作法Ⅰ 学術文章作法Ⅱ	履修者数の増加のため、開講授業数を増やし、佐藤准教授を担当として追加。担当予定教員の都合により、学術文章作法Ⅱの担当を佐藤准教授に変更。(28)
				学術文章作法Ⅲ	兼任	講師	小田 玲子 (50)	平成28年4月	学術文章作法Ⅲ	担当予定教員の都合により、学術文章作法Ⅲの担当を小田講師に変更。(28)
兼任	教授	蓮沼 昭子 (63)	平成26年4月	言語学	兼任	教授	山岡 政紀 (53)	平成28年4月	言語学	蓮沼教授の担当辞退により、言語学の担当を兼任教員3名に変更。(28)
					兼任	教授	高橋 正 (60)	平成28年4月	言語学	
					兼任	准教授	倉光 雅己 (57)	平成28年4月	言語学	

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	池田 秀彦 (59)	平成26年4月	法学概説						
兼任	教授	花見 常幸 (61)	平成26年4月	日本国憲法						
兼任	教授	藤田 尚則 (61)	平成26年4月	日本国憲法						
兼任	教授	鉤 治雄 (62)	平成26年4月	心理学概論						
兼任	教授	吉川 成司 (56)	平成26年4月	心理学概論	兼任	教授	タムラ シュウイチ 田村 修一 (55)	平成27年4月	心理学概論	吉川教授の都合(所属学部の担当授業数増)により心理学概論の担当を田村教授へ変更。(27)
兼任	教授	崔 龍雲 (53)	平成26年4月	物理学Ⅱ						
兼任	教授	浅井 学 (42)	平成26年4月	コンピュータ・リテラシーⅡ						
					兼任	准教授	中田 大悟	平成27年4月	コンピュータ・リテラシーⅡ	浅井教授の授業負担軽減のため、中田准教授をコンピュータ・リテラシーⅡの担当として追加。(28)
兼任	教授	坂部 創一 (57)	平成26年4月	情報科学Ⅱ						
兼任	教授	丸田 晋策 (54)	平成26年4月	生命科学Ⅰ※						
兼任	教授	関 篤志 (53)	平成26年4月	生命科学Ⅰ※						
兼任	教授	中嶋 一行 (60)	平成26年4月	生命科学Ⅱ※						
兼任	教授	杉山 由紀男 (59)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※ 現代マスコミ論※ 八王子学※ 21世紀文明論※ 総合科目特講※						
兼任	教授	西浦 昭雄 (46)	平成26年4月	サービスマーケティング(社会貢献と学び) 地域研究Ⅱ※ 共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ						
兼任	教授	玉井 秀樹 (51)	平成26年4月	平和学Ⅱ※						
兼任	教授	川崎 高志 (51)	平成26年4月	地域研究Ⅰ※ 共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ	兼任	教授	川崎 高志 (52) 後任なし	平成26年4月	地域研究Ⅰ	川崎教授より、共通総合演習Ⅰ、Ⅱの担当辞退の申し入れがあり、後任として山田教授の担当に変更。(27)
					兼任	教授	山田 隆司 (52)	平成27年4月	共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ	川崎教授の都合により、地域研究Ⅰの担当を解除。(28) 山田教授の在外研究派遣に伴い、共通総合演習Ⅰの担当を解除。後任なし。(28)
										後任なし
兼任	教授	小山 満 (69)	平成26年4月	地域研究Ⅰ※						
兼任	教授	高木 功 (57)	平成26年4月	地域研究Ⅰ※ 21世紀文明論※						
兼任	教授	北 政巳 (69)	平成26年4月	地域研究Ⅱ※						
兼任	教授	小崎 晃義 (55)	平成26年4月	地域研究Ⅱ※						
兼任	教授	清水 昭夫 (49)	平成26年4月	共通総合演習Ⅰ						
兼任	教授	有里 典三 (59)	平成26年4月	共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ						
兼任	教授	坂本 幹雄 (57)	平成26年4月	共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ						
兼任	教授	石井 秀明 (61)	平成26年4月	共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ						
兼任	教授	Philippe Debroux Stephan (66)	平成28年4月	International Human Resource Management						
					兼任	教授	藤平田 英彦 (72)	平成27年4月	体育実技Ⅰ 体育講義Ⅰ	履修者増加への対応として開講数を増やし、兼任教員として追加。(27)
					兼任	准教授	内藤 耕三 (45)	平成28年4月	体育実技Ⅰ	藤平田教授の退任に伴い、「体育実技Ⅰ」の担当を内藤准教授に変更。(28)
										後任なし。「体育講義Ⅰ」の後任はなし。(28)

設置時の計画				変更状況				備考				
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月					
兼任	准教授	伊藤 貴雄 (40)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※	兼任	教授	ホンマ マリ子 (67)	平成27年4月	人間教育論Ⅰ※	伊藤准教授の在外研究に伴い、人間教育論Ⅰの担当をホンマ教授へ変更。(27)		
				人間教育論Ⅱ※	兼任	教授	土井 美徳 (50)	平成27年4月	人間教育論Ⅱ※	伊藤准教授の在外研究に伴い、人間教育論Ⅱの担当を土井教授へ変更。(27)		
				創価教育論※								伊藤准教授の在外研究派遣に伴い、創価教育論、21世紀文明論の担当なしに変更。なお、これらの科目はオムニバス形式で開講されるものであり、他教員が引き続き担当するため、支障はない。(27)
				21世紀文明論※								
兼任	准教授	牛田 伸一 (40)	平成26年4月									
兼任	准教授	寒河江 光徳 (45)	平成26年4月									
兼任	准教授	桑原ビクター伸一 (44)	平成26年4月	Soka Education※	兼任	講師	Andrew Gebert	平成26年4月	Soka Education	桑原准教授の在外研究派遣のため、平成26年度のみ担当者を変更。(26)		
				環境科学Ⅱ							在外研究派遣のため、担当しないが、他教員が開講しているため支障はない。(26)	
					兼任	准教授	桑原ビクター伸一 (45)	平成26年4月	Soka Education※ 環境科学Ⅱ	桑原准教授の在外研究派遣終了に伴い、平成27年よりSoka Education、環境科学Ⅱの担当を復活。なお、Gebert講師は引き続きSasaki講師の後任としてSoka Educationを担当する。(27)		
兼任	准教授	村上 信明 (38)	平成26年4月	トップが語る現代経営	兼任	講師	寒河江 光徳 (46)	平成26年4月	トップが語る現代経営	村上准教授の在外研究派遣に伴い、トップが語る現代経営の担当を寒河江講師へと変更。なお、寒河江講師は他に人間教育論Ⅱを担当しており、担当科目の追加となる。		
				歴史Ⅱ							歴史Ⅱについては後任なしとするが、他教員担当の授業が複数開講されているため支障はない。また、21世紀文明論はオムニバス形式の授業であり、他の担当予定教員が引き続き授業を担当する予定であるため支障はない。(27)	
				21世紀文明論※	兼任	准教授	村上 信明 (40)	平成28年4月	歴史Ⅰ	村上准教授の在外研究派遣終了に伴い、歴史Ⅰを担当。(28)		
兼任	准教授	小林 和夫 (47)	平成26年4月	インターンシップⅢ	兼任	教授	長谷部 秀孝 (66)	平成28年4月	インターンシップⅢ	平成28年4月教授に昇任(28)		
				インターンシップⅣ							小林准教授の在外研究派遣に伴い、インターンシップⅢ・Ⅳの担当を長谷部教授へと変更。インドネシア・マレー語Ⅰ・Ⅱは、後任なしとするが、支障はない。	
				インドネシア・マレー語Ⅰ	兼任	准教授	小林 和夫 (49)	平成28年4月	インドネシア・マレー語Ⅲ インドネシア・マレー語Ⅳ	インドネシア・マレー語Ⅲ・Ⅳは、後期開講のため、小林准教授が在外派遣終了後、継続で担当。(28)		
兼任	准教授	染谷 宏 (68)	平成26年4月	スペイン語Ⅰ	兼任	准教授	染谷 宏 (70)	平成28年4月	スペイン語Ⅰ	担当予定教員の都合により、スペイン語Ⅲ・Ⅳからスペイン語Ⅴ・Ⅵの担当に変更。スペイン語Ⅲ・Ⅳの担当は、M.Alonso講師に変更。(28)		
				スペイン語Ⅱ					スペイン語Ⅱ			
				スペイン語Ⅲ					スペイン語Ⅴ			
				スペイン語Ⅳ					スペイン語Ⅵ			
兼任	准教授	江口 満 (54)	平成26年4月	人間教育論Ⅰ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ					オムニバス			
兼任	准教授	岡松 龍一 (59)	平成26年4月	日本語AⅠ	兼任	准教授	オカマツ リュウイチ 岡松 龍一 (60)	平成26年4月	日本語AⅠ 日本語AⅡ	外国人留学生の増加に伴い、日本語AⅠ、日本語AⅡの開講授業数を増やしたため、兼任・兼任教員を追加。(27)		
					兼任	准教授	セダカ ヨシタカ 白高 吉隆 (49)	平成27年4月	日本語AⅠ 日本語AⅡ			
				日本語AⅡ	兼任	准教授	ホウキ ヒサコ 法貴 寿子 (55)	平成28年4月	日本語AⅠ 日本語AⅡ	日高准教授の都合により、日本語AⅠ・AⅡは、法貴准教授に変更(28)		
					兼任	講師	マチダ コユキ 町田 小雪 (50)	平成27年4月	日本語AⅠ 日本語AⅡ			

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	准教授	倉光 雅己 (55)	平成26年4月	日本語D I 日本語D II	兼任	准教授	クラミツ マサミ 倉光 雅己 (56)	平成26年4月	日本語A I 日本語A II 日本語D I 日本語D II	外国人留学生の増加に伴い、日本語A I、日本語A IIの開講授業数を増やしたため、倉光准教授を担当として追加。(27) 倉光准教授の都合により、日本語A I・A IIの担当を萩原講師に変更(28)
兼任	准教授	伊東 美智留 (61)	平成26年4月	日本語E I 日本語E II	兼任	准教授	イトウ ミチル 伊東 美智留 (62)	平成26年4月	日本語A I 日本語A II 日本語E I 日本語E II	外国人留学生の増加に伴い、日本語A I、日本語A IIの開講授業数を増やしたため、伊東准教授を担当として追加。(27)
					兼任	講師	オギワラ ヨウコ 萩原 陽子 (30)	平成28年4月	日本語A I 日本語A II	倉光准教授の都合により、日本語A I・A IIの担当を萩原講師に変更(28)
					兼任	講師	ミズシマ アミ 水島 亜美 (25)	平成28年4月	日本語A I 日本語A II	外国人留学生の増加に伴い、日本語A I、日本語A IIの開講授業数を増やしたため、市川助教を担当として追加。(28)
兼任	准教授	山崎 めぐみ (46)	平成26年4月	学術文法作法I 共通総合演習II						
兼任	准教授	清水 強志 (42)	平成26年4月	学術文章作法III サービスマーケティング(社会貢献と学び) 共通総合演習I 共通総合演習II						
兼任	准教授	石井 良夫 (52)	平成26年4月	物理学I						
兼任	准教授	瀧美 雅保 (57)	平成26年4月	情報科学I	兼任	教授	瀧美 雅保 (57)	平成26年4月	情報科学I	平成26年4月教授に昇任。(26)
兼任	准教授	劉 継生 (49)	平成26年4月	情報科学II	兼任	准教授	劉 継生 (50)	平成26年4月	情報科学II コンピュータ・リテラシーI	教育課程の充実のため、コンピュータ・リテラシーIの開講数を増やし、劉准教授を担当として追加。(27)
兼任	准教授	近藤 和典 (56)	平成26年4月	生命科学I※						オムニバス
兼任	准教授	佐々木 諭 (46)	平成26年4月	生命科学II※ サービスマーケティング(社会貢献と学び) 共通総合演習I						オムニバス
兼任	准教授	新津 隆士 (53)	平成26年4月	環境科学I						
兼任	准教授	井田 旬一 (41)	平成26年4月	環境科学II	兼任	教授	井田 旬一 (41)	平成26年4月	環境科学II	平成26年4月教授に昇任。(26)
兼任	准教授	碓井 健寛 (40)	平成26年4月	21世紀文明論※ 環境科学II			後任なし			碓井准教授の都合(所属学部の授業担当数増)により、担当なしに変更。なお、これらの科目は他教員の担当で開講されているものがあるため、支障はない。(27)
兼任	准教授	野村 佐智代 (47)	平成26年4月	環境科学II			後任なし			野村准教授の都合(所属学部の授業担当数増)により、担当なしに変更。なお、この科目は他教員の担当で開講されているものがあるため、支障はない。(27)
兼任	准教授	加納 直幸 (56)	平成26年4月	地域研究II※						オムニバス
兼任	准教授	山ノ端 万里 (66)	平成26年4月	日本研究I 日本研究II						
兼任	講師	富岡 比呂子 (40)	平成26年4月	創備教育論※	兼任	准教授	富岡 比呂子 (40)	平成26年4月	創備教育論※	オムニバス 平成26年4月准教授に昇任。(26)
兼任	講師	佐々木ダニエル浩 (38)	平成26年4月	Soka Education※	兼任	講師	Andrew Gebert (57)	平成26年4月	Soka Education※	佐々木講師の都合(所属学部の授業担当数増加)に伴い、平成26年度に桑原准教授の後任としてSoka Educationを担当したGebert講師を、引き続き佐々木講師の後任として同授業の担当。(27)
兼任	講師	Darrell Wilkinson (39)	平成26年4月	English for Academic Purposes Academic Foundations Academic Writing I	兼任	准教授	Robert Hamilton (44)	平成28年4月	English for Academic Purposes Academic Foundations	Wilkinsonの退任に伴い、Hamilton准教授に変更。 Academic Writing Iの後任はHansford講師の増コマで対応(28)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	西田 哲史 (47)	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 歴史Ⅰ 地域研究Ⅱ※	兼任	准教授	西田-哲史 (47)	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 歴史Ⅰ 地域研究Ⅱ※	オムニバス 平成26年4月 准教授に昇任。(26)
					兼任	准教授	西田 哲史 (48)	平成26年4月	歴史Ⅰ 地域研究Ⅱ	西田准教授の都合(所属学部の授業担当数増)に伴い、ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳの担当を森講師へ変更。ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱは他教員が担当する授業があるため後任はなし。(27)
					兼任	講師	森 齊文 (42)	平成27年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	
兼任	講師	開沼 正 (51)	平成26年4月	歴史Ⅰ						
兼任	講師	山下 由美子 (42)	平成26年4月	学術文章作法Ⅱ 学術文章作法Ⅲ	兼任	講師	山下 由美子 (43)	平成26年4月	学術文章作法Ⅰ 学術文章作法Ⅱ 学術文章作法Ⅲ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、山下講師を担当として追加。(27)
兼任	講師	黄 國光 (55)	平成26年4月	コンピュータ・リテラシーⅠ						
兼任	講師	久米川 宣一 (41)	平成26年4月	環境科学Ⅰ						
					兼任	講師	坂口 貴弘 (36)	平成28年4月	創価教育論※	教育課程の充実を図るため、創価教育論の担当として坂口講師を兼任教員として追加。(28)
					兼任	講師	李 佩 (60)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、人間教育論Ⅰの担当として李講師を兼任教員として追加。あわせて中国語Ⅰ、Ⅱの履修者増加に対応するため、開講科目数を増やし、李講師を担当として追加。(27) 李講師の都合により、人間教育論Ⅰの担当を解除。(28)
兼任	助教	秋元 大輔 (33)	平成26年4月	21世紀文明論※ 平和学Ⅰ 平和学Ⅱ※			後任なし			秋元講師の退職に伴う変更。なお、後任なしとした2科目は、他教員の担当で開講されている授業があるため、支障はない。(27)
					兼任	講師	岩木 秀樹 (47)	平成26年4月	平和学Ⅰ	
							後任なし			
					兼任	助教	コヤマ タカユキ 小山 貴之 (45)	平成27年4月	学術文章作法Ⅰ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、小山助教を担当として追加。(27)
					兼任	助教	シロガタモリ 嶋田一みのり (28)	平成27年4月	学術文章作法Ⅰ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、嶋田助教を担当として追加。(27)
					兼任	助教	青木 美寿華 (24)	平成28年4月	学術文章作法Ⅰ	嶋田助教の退任に伴い、青木助教を担当として追加。(28)
					兼任	助教	オオシマニシカキ 大島一光 (27)	平成27年4月	学術文章作法Ⅰ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、大島助教を担当として追加。(27)
					兼任	助教	三好 香里 (26)	平成28年4月	学術文章作法Ⅰ	大島助教の退任に伴い、三好助教を担当として追加。(28)
					兼任	助教	キハラ ヒロコ 木原 宏子 (24)	平成27年4月	学術文章作法Ⅰ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、木原助教を担当として追加。(27)
					兼任	助教	コウ ジャクハク 黄 若白 (26)	平成27年4月	学術文章作法Ⅰ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、黄助教を担当として追加。(27)
					兼任	助教	サクライ カズミ 櫻井 和美 (26)	平成27年4月	学術文章作法Ⅰ	学術文章作法Ⅰの必修化に伴い、履修者数が増加したため、開講授業数を増やし、櫻井助教を担当として追加。(27)
					兼任	助教	宮原 千咲 (28)	平成28年4月	学術文章作法Ⅰ	履修者数増加のため、開講授業数を増やし、宮原助教を担当として追加。(28)
兼任	講師	鈴木 正敏 (64)	平成26年4月	体育講義Ⅰ						
兼任	講師	Evelyn Zraggen (38)	平成26年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅴ ドイツ語Ⅵ						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	藤井 香 (51)	平成26年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅴ フランス語Ⅵ						
兼任	講師	錢 春蘭 (59)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	裴 雲青 (45)	平成26年4月	中国語Ⅰ	兼任	講師	キョウ ウンセイ 裴 雲青 (47)	平成28年4月	中国語Ⅰ	裴雲青講師の都合により、中国語Ⅲ、同Ⅳの担当を張講師に変更。(28)
				中国語Ⅱ					中国語Ⅱ	
				中国語Ⅲ					中国語Ⅲ	
				中国語Ⅳ					中国語Ⅳ	
兼任	講師	曹 妙娥 (60)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	張 恕茗 (53)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	呉 英偉 (44)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	何 秋平 (58)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	羅 奇祥 (60)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	王 瑞来 (57)	平成26年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	袁 英明 (48)	平成26年4月	中国語Ⅲ	兼任	講師	袁 英明 (49)	平成26年4月	中国語Ⅲ	袁講師の本務校の都合により、中国語Ⅴ、中国語Ⅵの担当辞退があり、同科目の後任として汪教授の担当に変更。なお、汪教授は中国語Ⅰ～Ⅳをすでに担当しており、担当科目の追加となる。(27)
				中国語Ⅳ					中国語Ⅳ	
				中国語Ⅴ					中国語Ⅴ	
				中国語Ⅵ					中国語Ⅵ	
兼任	講師	Jose I. D. Alonso (54)	平成26年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ						
兼任	講師	Ines P. Navarro (50)	平成26年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅴ スペイン語Ⅵ	兼任	講師	Maria Domenech Alonso (61)	平成27年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ <del>スペイン語Ⅲ</del> <del>スペイン語Ⅳ</del>  スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ	I. Navarro講師の退職に伴う交代。(27) 担当予定教員の都合により、スペイン語Ⅴ・Ⅵからスペイン語Ⅲ・Ⅳに担当を変更。スペイン語Ⅴ・Ⅵは、染谷教授に担当者変更(28)
兼任	講師	菅野がエロニカ (47)	平成26年4月	イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ イタリア語Ⅴ イタリア語Ⅵ	兼任	講師	菅野ヴェロニカ (48)	平成26年4月	イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ	菅野講師のイタリア語Ⅴ、イタリア語Ⅵの担当辞退に伴い、同科目をMorganti講師の担当に変更。(27)
				イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ イタリア語Ⅲ イタリア語Ⅳ					イタリア語Ⅴ イタリア語Ⅵ イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ イタリア語Ⅲ イタリア語Ⅳ	
兼任	講師	Marcella Morganti (49)	平成26年4月	イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ イタリア語Ⅲ イタリア語Ⅳ						
兼任	講師	加納 知美 (46)	平成26年4月	ハングルⅠ ハングルⅡ	兼任	講師	徐 明玉 (44)	平成27年4月	ハングルⅠ ハングルⅡ	ハングルⅠ・Ⅱの履修者増加に伴う同科目担当者の調整のため、同科目の担当を徐講師に変更。また、加納講師はこの変更に伴い、白講師が担当予定であったハングルⅢ、同Ⅳを担当する。(27)
兼任	講師	白 恩正 (40)	平成26年4月	ハングルⅠ ハングルⅡ ハングルⅢ ハングルⅣ	兼任	講師	白 恩正 (41)	平成26年4月	ハングルⅠ ハングルⅡ	ハングルⅠ・Ⅱの履修者増加に伴い、白講師が担当するハングルⅠ、同Ⅱの開講数を増やしたため、白講師が担当予定であったハングルⅢ、同Ⅳを加納講師へと変更する。(27)
				加納 知美 (47)			平成26年4月	ハングルⅢ ハングルⅣ		
兼任	講師	李 和貞 (41)	平成26年4月	ハングルⅠ ハングルⅡ	兼任	講師	李 和貞 (42)	平成26年4月	心理学概論	李講師の本務校の都合によりハングルⅠ、ハングルⅡの担当辞退。後任者はなしとするが、同科目は他教員担当の授業が複数開講されているため、支障はない。また、心理学概論の履修者増加に伴い、同科目の開講数を増やし、李講師を担当として追加。(27)
兼任	講師	菱川 邦俊 (44)	平成26年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ	兼任	講師	寛張 シルビア (37)	平成27年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ	菱川講師の他の学部授業担当科目数増加に伴い、ロシア語Ⅰ、Ⅱの担当を寛張講師へと変更。言語演習Ⅰ～Ⅳは後任は設けませんが、同科目は他教員の担当で複数授業が開講されているため支障はない。(27)
				言語演習Ⅰ 言語演習Ⅱ 言語演習Ⅲ 言語演習Ⅳ			後任なし			
兼任	講師	草加 千鶴 (35)	平成26年4月	ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ	兼任	講師	Stella Sivakova (52)	平成26年4月	ロシア語Ⅲ ロシア語Ⅳ	草加講師の退職に伴う変更。(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	秋田 恵美子 (56)	平成26年4月	日本語B I 日本語B II						
					兼任	助教	イテカワ マミ 市川 真未 (26)	平成28年4月	日本語A I 日本語A II 日本語C I 日本語C II	外国人留学生の増加に伴い、日本語A I、日本語A IIの開講授業数を増やしたため、市川助教を担当として追加。橋本講師の都合により、日本語C I・C IIは市川助教が担当。(28)
兼任	講師	橋本 光子 (40)	平成26年4月	日本語C I 日本語C II						
兼任	講師	法貴 寿子 (53)	平成26年4月	日本語F I 日本語F II	兼任	講師	法貴 寿子 (55)	平成28年4月	日本語A I 日本語A II 日本語F I 日本語F II	日高准教授の都合により、日本語A I・A IIは、法貴准教授に変更(28)
兼任	講師	香川 正子 (54)	平成26年4月	ポルトガル語 I ポルトガル語 II ポルトガル語 III ポルトガル語 IV 言語演習 I 言語演習 II 言語演習 III 言語演習 IV						
兼任	講師	コスギグレロン朝 美 (53)	平成26年4月	スワヒリ語 I スワヒリ語 II スワヒリ語 III スワヒリ語 IV						
兼任	講師	須藤 Vichai Peinukachon (62)	平成26年4月	タイ語 I タイ語 II タイ語 III タイ語 IV						
兼任	講師	岩木 秀樹 (46)	平成26年4月	トルコ語 I トルコ語 II トルコ語 III トルコ語 IV	兼任	講師	岩木 秀樹 (47)	平成26年4月	トルコ語 I トルコ語 II トルコ語 III トルコ語 IV 共通総合演習 I 共通総合演習 II	教育課程充実のため、共通総合演習 I、IIの開講数を増やし、岩木講師を同科目の担当者として追加。(27)
兼任	講師	二宮 由美 (50)	平成26年4月	ブルガリア語 I ブルガリア語 II ブルガリア語 III ブルガリア語 IV						
兼任	講師	田中 セツ子 (71)	平成26年4月	モンゴル語 I モンゴル語 II モンゴル語 III モンゴル語 IV						
兼任	講師	久山 宏一 (53)	平成26年4月	言語演習 I 言語演習 II 言語演習 III 言語演習 IV						
					兼任	講師	内藤 耕三 (43)	平成26年4月	体育実技IV	教育課程の充実を図るため、兼任教員を追加。(26)
					兼任	講師	内藤 耕三 (44)	平成26年4月	体育実技III 体育実技IV	履修者増加への対応として体育実技IIIの開講数を増やし、内藤講師を担当として追加。(27)
					兼任	准教授	ナイトウ コウゾウ 内藤 耕三 (45)	平成28年4月	体育実技III 体育実技IV 体育実技 I 体育講義 I	履修者増加への対応として体育実技 I の担当を追加。また、鈴木講師の都合により体育講義 I の担当を内藤准教授に変更。なお、内藤准教授は、兼任講師から兼任准教授に身分変更。(28)
					兼任	講師	タシロ コウジ 田代 浩二 (51)	平成27年4月	体育実技 II 体育実技IV	履修者増加への対応として開講数を増やし、兼任教員を追加。(27)
兼任	講師	大塚 由紀夫 (62)	平成26年4月	音楽 I 音楽 II						
兼任	講師	鷹尾 俊一 (64)	平成26年4月	美術 I 美術 II						
兼任	講師	阿部 昇吉 (57)	平成26年4月	文学 II						
兼任	講師	山崎 達也 (56)	平成26年4月	哲学						
兼任	講師	春日 潤一 (33)	平成26年4月	倫理学	兼任	講師	カスガ ジュンイチ 春日 潤一 (34)	平成26年4月	倫理学 哲学	哲学の履修者数増加に伴い、開講数を増やし、春日講師を担当に追加。(27)
兼任	講師	小林 正博 (63)	平成26年4月	歴史 I 21世紀文明論※						オムニバス

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	満田 剛 (40)	平成26年4月	歴史 I			後任なし			平成26年3月満田講師の退任。「歴史」は他に担当教員が7名いるため、支障はない。(26)
兼任	講師	栗原 淑江 (62)	平成26年4月	人間教育論Ⅱ※ 歴史Ⅱ 21世紀文明論※						オムニバス
兼任	講師	和田 正彦 (66)	平成26年4月	歴史Ⅱ						
兼任	講師	井上 敬子 (60)	平成26年4月	学術文章作法Ⅲ						
兼任	講師	望月 光三 (72)	平成26年4月	数学基礎Ⅰ						
兼任	講師	阿部 隆一 (66)	平成26年4月	数学基礎Ⅱ						
兼任	講師	野崎 華世 (31)	平成26年4月	数学基礎Ⅱ	兼任	講師	カドカワ・カズチ 門川一和男 (39)	平成27年4月	数学基礎Ⅱ	野崎講師の退職に伴う変更。(27)
					兼任	講師	臼田 幸生 (65)	平成28年4月	数学基礎Ⅱ	門川講師の退職に伴う変更。(28)
兼任	講師	宮本 勉 (70)	平成26年4月	プログラミング	兼任	教授	望月一雅光 (47)	平成27年4月	プログラミング	宮本講師の退職に伴い、後任として望月教授、長野講師が担当(プログラミングはもともと2授業を開講予定であったため、これを望月教授、長野講師それぞれで開講する)。(27)
					兼任	講師	長野一純一 (32)	平成27年4月	プログラミング	
					兼任	講師	水地 良明 (28)	平成28年4月	プログラミング	望月教授の特別研究員派遣、長野講師の退職に伴い、水地講師に担当を変更。(28)
					兼任	准教授	黄 國光 (57)	平成26年4月	情報科学Ⅰ	宮本講師の退職に伴い、後任として黄准教授が担当。(27)
兼任	講師	山口 寿男 (67)	平成26年4月	総合科目特講※	兼任	講師	山口一寿男 (68)	平成26年4月	総合科目特講	山口講師より、共通総合演習Ⅰ、Ⅱの担当辞退の申し入れがあり、同科目の担当を李講師へと変更。(27)
				共通総合演習Ⅰ		後任なし				
				共通総合演習Ⅱ	兼任	講師	李 佩 (60)	平成27年4月	共通総合演習Ⅰ 共通総合演習Ⅱ	山口講師が別科目を担当するため、総合科目特講の担当を解除し、後任なし。(28)
					兼任	講師	オザワ リエコ 小澤 理恵子 (52)	平成28年4月	心理学概論	心理学概論の履修者増加に伴い、同科目の開講数を増やし、李講師を担当として追加。(27)
					兼任	講師	鈴木 正明 (40)	平成27年4月	数学基礎Ⅰ	スーパーグローバル大学創成支援事業により数学基礎Ⅰの英語クラスを増設し、鈴木正明講師を担当として追加。(27)
					兼任	講師	折本 綾子 (44)	平成27年4月	コンピュータ・リテラシーⅠ	教育課程の充実のため、同科目の開講数を増やし、折本講師を担当として追加。(27)
					兼任	講師	鈴木 英司 (58)	平成27年4月	地域研究Ⅰ	教育課程の充実のため、同科目の開講数を増やし、鈴木講師を担当として追加。(27)
					兼任	講師	國田一安美 (30)	平成27年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	履修者増加への対応としてフランス語Ⅰ、Ⅱの開講授業数を増やし、國田講師の授業を追加。(27)
					兼任	講師	岡村 能里子 (66)	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	國田講師の退任に伴い、岡村講師に担当者を変更。(28)
					兼任	講師	Andrea Miyamoto (53)	平成28年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	履修者増加への対応としてドイツ語Ⅰ、Ⅱの開講授業数を増やし、Miyamoto講師の授業を追加。(28)
					兼任	講師	Steven G. Morgan (61)	平成28年4月	音楽Ⅰ	スーパーグローバル大学創成支援事業により音楽Ⅰの英語クラスを増設し、Morgan講師を担当として追加。(28)
					兼任	講師	蝶名林 亮 (34)	平成28年4月	哲学	スーパーグローバル大学創成支援事業により哲学の英語クラスを増設し、蝶名林講師を担当として追加。(28)
					兼任	講師	須藤美喜子 (57)	平成28年4月	地域研究Ⅱ	スーパーグローバル大学創成支援事業により地域研究Ⅱの英語クラスを増設し、須藤講師を担当として追加。(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	Colin F. Rundle (53)	平成28年4月	日本研究Ⅱ	スーパーグローバル大学創成支援事業により日本研究Ⅱの英語クラスを増設し、ランドル講師を担当として追加。(28)
					兼任	講師	山城屋 正満 (67)	平成28年4月	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 体育実技Ⅳ	履修者増加への対応として、体育実技Ⅰ・Ⅱ・Ⅳの開講授業数を増やし、山城屋講師の授業を追加。
					兼任	講師	小川 政範 (50)	平成28年4月	体育実技Ⅲ 体育実技Ⅳ 体育講義Ⅱ	履修者増加への対応として、体育実技Ⅲ・Ⅳ、体育講義Ⅱの開講授業数を増やし、小川講師の授業を追加。

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
8	6	3	0	17	10	3	4	0	17	10	3	4	0	17
(8)	(1)	(3)	(0)	(12)						[2]	[△3]	[1]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ② 年齢構成

定年規定の定める定年年齢(歳)	年齢構成	
	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65歳	0名	1名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	John Glenn	必修	Introduction to International Relations and Politics	①	病気（メニエール病）のため就任辞退（26）	
			必修	Seminar I	①		
			必修	Seminar II	①		
			必修	Seminar III	①		
			必修	Capstone	①		
			選択	International Political Economy	①		
			選択	Comparative Politics	①		
合計（A）				後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		該当なし				
2						
合計（C）				後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

John Glenn准教授が病気のため就任を辞退したが、担当科目はすべて3年次科目(平成29年開講)～2年次後期(平成27年度後期)から開講するため(28)、初年度における学生の履修に支障はない。本年度中に後任を決定する予定であり、国際公募を実施し、現在、最終選考中。後任決定次第、ホームページで案内をする。(26)  
平成27年1月1日より、John Glenn氏の後任として、Anar Koli講師が専任教員として本学部に就任した。周知については、就任時にホームページで案内を出した。John Glenn氏が担当予定であった科目については、現在までに全て開講され、Anar Koli講師が担当している。(28)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年 4 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (27年 2 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (28年 2 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <国際教養学部 国際教養学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>・ Basic Seminar Iについて 「教育課程等の概要」より： 授業科目の名称/Basic Seminar I 配当年次/1前 単位/必修2単位</p> <p>・ Seminar Iについて 「教育課程等の概要」より： 授業科目の名称/Seminar I 配当年次/3前 単位/必修2単位 「設置の主旨」より： 3年次前期に配置される「Seminar I」の授業では、「歴史・文化」「政治・国際関係」「経済・経営」の各分野の教員がチーム・ティーチング等の多様な手法を取り入れて、共通の社会的課題や問題に対する異なる学問分野からの分析手法を示すことで、社会問題の創造的解決を導く一つの手段として、学際的アプローチの有用性を学ぶ機会を提供する。</p>	<p>チーム・ティーチングは、当初予定していた3年次前期に配置されている「Seminar I」ではなく、1年次前期に配置されている「Basic Seminar I」で導入することとした。 その理由は以下の2点である。 1つ目は、学際的に学ぶことの重要性を、入学後、早い段階で理解させた上で社会的課題への意識を高めて1年間の留学をした方が学生の学びに効果があり、さらに自分がどの分野を将来専攻するかを検討し始める早期のきっかけとなると考えた点。 2つ目は、2年次後期に3分野の導入科目（各4単位・必修）の学びを通して、学生が自身の適性を見出せる機会を既に提供しており、3年次以降は3分野をバランスよく学ぶカリキュラムになっているため、3年次前期から提供するSeminar Iでは、1名の指導教員のもと少人数で専門性の養成に注力するほうが専攻する分野についてより深い学びとなる点である。 以上の理由から、チーム・ティーチングの実施年次を早め、今後も1年次前期に行っていく。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>ア 全学的な取り組み</p> <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教員の教育研究活動の向上を目的として不断に検討を行い、その改善、充実を図るために、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「FD委員会」という。）を置く。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年間3～4回定期的で開催し、全学部長を含む委員16～17名は基本的に全員参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業の内容及び改善の方策に関する事項、研修会及び講習会の開催に関する事項、学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関する事項等</p>
--

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・全学的FDの取組目標の立案・取り組み・結果及び効果の分析
- ・教授法等に係るFDセミナー（年7～8回）及びFDフォーラム（年1回）
- ・新任教員研修（年3回）
- ・コンソーシアムや大学間連携による他大学との連携事業

### b 実施方法

FD委員会にて協議・検討した計画に基づき、教育・学習支援センター（GETL）等の関連部門がFDに係るセミナー・研修等を運営する。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

FDセミナー（年7～8回）・FDフォーラム（年1回）・新任教員研修（年3回）等を定期開催し、教員1人につき年間平均約2.9回の参加がされている。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会やセミナーを通じ、ラーニング・アウトカムズの達成点検・到達目標の測定を意識した授業展開が促進され、LTD等、ALの定着化が進展している。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

年2回（各セメスター最終授業にて）、原則的に全教員（非常勤を含む）の専門科目・共通科目（履修者10名以上）において実施している。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目のアンケート集計結果を、WEB上で公開している。

## イ 学部における取り組み

a 国際教養学部専任教員や、海外研究者の研究成果を発表するリサーチ・セミナーを4回実施（平成27年5月13日、平成27年5月28日、平成27年6月24日、平成28年1月21日）

b 学部FDの実施：同志社大学国際教育インスティテュート（ILA）グレゴリー・ポール学部長による講演（平成28年1月13日）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学部開設（平成26年4月）から2年目を終えた現段階で、本学部の研究・教育活動は、ほぼ設置計画通りに進行している。平成27年5月1日に学部専任教員17名全員が本学に赴任し、1年次、2年次学生を対象とした全ての学部専門科目を当初の計画通り開講し、実施した。

本学部のカリキュラムの特徴である1年次後期から2年次前期までの必修の海外留学プログラムに参加した平成26年度入学生は、退学者、休学者等を除く78名が無事研修を終えて帰国した。また平成27年度入学生は、退学者、休学者等を除く90名が、新規カナダ サイモン・フレーザー大学を加えた5つの大学において海外留学プログラムを順調に実施している。

平成27年度の入学試験において、本学部の志願者数は前年度の780人から687人に減少したが、入学定員80名に対して依然、高い志願倍率を保っている。

入学時の新入生（日本人学生）の能力を全学的に測るプレイスメントテスト（国語・英語・数学）の結果では、他学部と比べ本学部は高い平均点を記録し、また学部内における平均点でも前年度と比べ、全ての科目において向上が確認されている。これらのデータを鑑みると、学部開設2年目を終えて本学部の提供する教育プログラム内容と理解が、本学部を志望する学生の間で、より明確に浸透しつつあると考えられる。

学部人事では開設時より学部運営を中心的に遂行してきた学部長、副学部長が2年の任期を終え、本年度より学部長1名、副学部長2名が新規任命された。

今後も、学部初の卒業生を輩出する平成29年度に向けて、本学部が掲げる①人文・社会科学にわたる学際的知識、②グローバル社会で通用する高度な英語運用・コミュニケーション能力、③異文化理解力、④国際社会の平和と繁栄を目指すグローバル・マインド、⑤創造的な問題解決能力、の5つの能力を備える人材の育成を目指し、申請書に記述した教育課程プログラムを着実に実践し、所期の目標を達成してまいりたい。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成28年4月18日 公表

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（平成28年4月）

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定である

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成28年 5月 末日 )

## 創価大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(趣旨)

第1条 本学に、教員の教育研究活動の向上を目的として不断に検討を行い、その改善、充実を図るために、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる教員の教育研究活動の改善、充実の方策に関する事項を審議する。

- (1) 授業の内容及び改善の方策に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関する事項
- (4) その他委員会が必要と認めた事項

(構成)

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長の指名する副学長または副学長補
- (2) 教務部長及び教務部副部長
- (3) 各学部長
- (4) 学士課程教育機構長
- (5) 教育・学習支援センター長
- (6) 教務部事務部長
- (7) 学長が委嘱する教職員若干名

2 委員長は、前項第1号の委員をあてる。委員長に支障のあるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(任期)

第4条 委員の任期は、職務上委員となるものを除き2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 会議は、委員長が必要と認めたときに招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決定する。

(専門委員会)

第6条 委員会は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員長及び委員は、委員会の議を経て、学長が任命する。

3 専門委員会の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(事務)

第7条 委員会の事務は、総合学習支援オフィス学習支援課が担当する。